

日本代表が最高賞初受賞の快挙！

リジエネロン ISEF 日本代表が文科大臣表敬

5月に米国で開催された「リジエネロン国際学生科学技術フェア(Regeneration ISEF)2026」の日本代表が7月22日、文部科学省において松本洋平文科大臣を表敬訪問した。今大会では、栗林輝さん(市立札幌開成中等教育学校6年)が日本初となる最高賞(ジョージ・ヤンコポロス革新賞)を受賞した。同大会は、世界各国の生徒等(研究実施当時高校生又は同等の学校・学年に在籍する者)が、個人またはチームで研究成果を競い合う国際的科学技術コンテスト。研究分野別



記念撮影におさまる松本文科大臣(前列中央)と日本代表選手(文科省15階特別会議室)



松本文科大臣④から表彰状を受ける最高賞の栗林さん



選手たちの活躍を労う松本文科大臣
今後の勇気になった」と述べるとともに「色々な文化バックグラウンドを持つ人が集まって交流し、科学という視点を通して国籍や言語を超えてつながることはすごく楽しく力を感した」と話した。

の22部門ごとに1〜4等までが選出され、最高賞は全22部門から1件が選ばれる。最高賞を受賞した栗林さんは「物理学・天文学部門」優秀賞1等をあわせて受賞した。表敬では、松本文科大臣が挨拶し「代表に選ばれること自体が非常に難しいことだが、その上で国際舞台に立ち、自らの研究を堂々と発表し、最高賞をはじめ立派な成績を収めたことは日頃のたゆまぬ努力の賜物だ。優れた若い人材が世界で活躍することが求められている中、文部科学省では今後とも次代を担う若者を支援していく。皆さんが今回の結果を糧にますます活躍されることを心から祈っている」と祝意を示した後、代表選手一人ひとりに文部科学大臣表彰等を授与した。表敬後の取材で、最高賞の栗林さんは「ISEFは本当に規模も大きく、同年代の研究者が一堂に集まる。そこで発表できた経験は